

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）ソウカダイガク	フリガナ）ケイエイクラブ	フリガナ）ヤスダゼミナール
創価大学	経営学部	安田ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）チームサン	フリガナ）カミウンテンタカアキ	7	無
Team SUN	上運天貴明		

研究テーマ（発表タイトル）
Sunshine project～レシートで NPO の持続的な運営を可能に～

0※必ずく企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

若者である私たちは、「NPO」という存在の認識はあるものの、実際の印象は「よくわからない」というのが実態です。NPO 法人 ETIC.の調査によると、若者の約半数は「NPOという言葉は聞いたことがあるけれど、良し悪しを判断するほどよく知らない」と回答しています。いま、社会課題が増加しており企業や行政では対処できないため、NPO が重要な役目を担っています。NPO が今後も持続的に活動をしていくためには、将来を担う若者の認知が不可欠です。**若者へ NPO の認知・関心を広げることで、NPO の持続的な活動を可能にし、より明るい未来を創造するためプロジェクトを始動しました。**

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

NPO 法人数は年々増加しており、ここ 10 年では 2 万もの団体が設立されています。そのような NPO の約 7 割が『社会課題を解決するため』に設立されています。しかし、NPO は、各団体の背景によって、運営上に様々な課題が生じ、継続的な活動が困難となっています。NPO の継続的な活動が困難となっている根本原因を調査するため、私たちは 7 月より、NPO 団体への 116 回のアポ取りと 44 回の訪問インタビュー調査、更に同月より NPO300 団体へアンケート調査を実施しました。その結果、NPO では、資金不足や人手不足なども問題ではありますが、①次世代の活動の主体となる若者を必要としているにも関わらず、若者の活動参加率は 22%にとどまっている、②NPO 団体の 76%が自分たちの取り組みが若者に認知されていない、ことなどを課題と考えていることが判りました。つまり、「**若者へ情報が行き届いていない**」ことが継続的に活動をしていく上で深刻な問題だと認識していることが判明しました。

3. 研究テーマの課題

では、なぜ若者に情報が行き届いていないのでしょうか。それは NPO の広報活動が若者に対して適切とはいえないからです。主な原因として 2 点考えられます。

1 点目は、**広報チャネルにミスマッチがある点です**。殆どの NPO は、無料で掲載できる市の広報誌や、独自の HP で広報を行っています。若者はそれらの媒体を殆ど見ていません。また、そもそも若者の多くは NPO に対して関心が低いと、少なくとも若者に馴染みがある媒体で情報を届ける必要があるといえます。

2 点目は、**情報発信の内容が若者の求めているものと異なる点です**。私たちの独自のアンケートによると、多くの若者が NPO に求める情報は、問題視している社会課題と、それに対して行っている NPO の活動内容を知りたいと思っていることが明らかになりました。しかし、NPO の殆どは、団体概要や活動の成果に重点をおいて情報発信をしており、NPO は、様々な内容の情報発

信をしているものの、若者の求める内容を適切に提供しているとはいえないと考えられます。

以上のことから、若者に NPO の認知を広げていくためには、若者に適切な方法で、若者が求める内容の情報を提供していくことが不可欠です。私たちは、この①情報発信のチャネル、②発信している内容、の2点の課題を若者に身近なチャネルと HP のコンテンツで解決します。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

図1：SUNのビジネスモデル

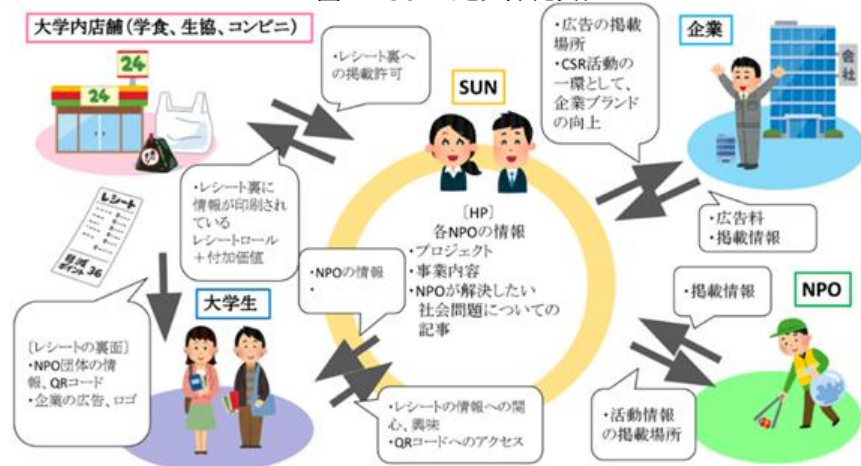


図1は、私たちのプロジェクトのビジネスモデル図です。私たちは、NPO と若者をつなげるために、NPO を紹介する HP を作成し、その周知のために、**レシートの裏**をチャネルとして活用します。資金は、CSR 活動に力をいれており、尚且つ、若者をターゲットとしている企業にスポンサー出資してもらうことを目指します。

具体的な流れは以下の通りです。若者がよく利用する大学内店舗で買い物をした際に受け取るレシートの裏に QR コードなどを記載し、LINE 登録をできるようにします。若者が、

LINE で友だち登録をすることで、定期的かつ受動的に独自の HP にアクセスすることを可能にします。HP では、NPO の活動分野を8分野に分け、若者が各分野の社会問題から触れていき、その課題に対して活動している NPO 一覧により活動内容を知ることが可能です。

図2：レシートからHPまでのイメージ

次に、レシート裏に掲載する情報について概説します。図2はイメージ図です。

レシート裏には以下のような情報を掲載します。

- 4コマ漫画・・・学生が手軽に社会問題に触れる機会を創出。
- チェックボックス・・・自分の意識とリンクさせる。
- 協賛企業の掲載・・・プロジェクトの信頼性を高める。

これらは QR コードをスキャンさせる動機づけにつながると考えています。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは上記のようなビジネスモデルに基づき、以下の活動、①ホームページの管理・運営、②QR コード印刷済みレシートの発注ならびに学内店舗への設置・営業活動、③NPO 情報掲載に向けての営業活動ならびに掲載、④協賛企業への営業活動ならびに HP への広告作成・掲載、などを行います。

現在まで、私たちは2月から活動を開始し、3月から5月にかけて企画立案を行いました。7月頃からNPOにアンケート依頼、ならびに営業活動を実施し、交渉したNPOは300団体以上になります。合わせて8月頃から協賛企業への営業活動を実施しています。ホームページは8月末に作成し、運営を行っています。

6. 結果や今後の取り組み

創価大学内にある2つの食堂でレシート裏をイメージしたチラシを用意し、906枚を配布したところ、45名の学生がスキャンをし、LINE 友達登録を獲得しました。このコンバージョン率は、非営利団体の平均2%の2.5倍の**約5%**です。今後は、レシート裏の情報をさらに魅力的にすることでコンバージョン率の向上を目指します。

現在、レシート裏の掲載許可を、創価大学内にある食堂を経営する株式会社エーエムサービス様、さらに、認定NPO法人やまぼうしの代表理事伊藤様と交渉を重ねた結果、当該法人が大学内で運営する『明星大学スター☆ショップカフェ』、『法政大学エッグドーム・スローワールドカフェ』、『首都大学エイコーンカフェ』など、**学内5店舗、学外4店舗でレシート裏の掲載許可**を得ています。

HP のコンテンツとして、社会課題についての記事については、**NPO 新聞と提携**し、記事を引用する許可を得ることができました。NPO の HP 掲載については前述の通り 300 団体の NPO にメールを送り、**40 団体**から掲載したいとの依頼を頂戴しました。現在、コンテンツについては社会課題と共に NPO の活動内容や活動中の写真を掲載しています。

今後の展望は以下のように考えています。

1. レシートの導入

レシートを現在提携している 4 店舗には本年 11 月に導入予定となっています。

2. 企業提携数の拡大

これから、CSR 活動に力を入れており、尚且つ若者を主たるターゲットとしている企業に訪問をし、協賛の上、スポンサー出資してもらえるように交渉する予定です。1 年目は 2 社、2 年目は 5 社、3 年目は 8 社、提携企業の獲得を目指します。

3. 大学店舗数の拡大

現在、レシート裏の掲載許可を得ている店舗は、創価大学の店舗を含め 9 店舗ですが、1 年目は 3 店舗、2 年目は 6 店舗、3 年目は 8 店舗、4 年目は 12 店舗の提携大学店舗の獲得を目指します。

4. LINE 公式アカウント友達追加数

先ほど述べたように試用期間のコンバージョン率は約 5%で、現在 150 人が友だち登録をしています。そこから来年 2017 年 1 月には 870 人の友達登録を目指します。

7. 参考文献

「NPO」についての認知度とイメージを調査 (<http://drive.media/posts/4918>)

内閣府 NPO 団体数増加推移 (<https://www.npo-homepage.go.jp/about/toukei-info/ninshou-seni>)

ソーシャルビジネスの経営実態～「社会的問題と事業との関わりに関するアンケート」から～

(https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/sme_findings141118.pdf)

2012 年度 NPO 支援センター実態調査報告書 主な実態調査報告書 主な結果 (統計編)

([http://www.jnpoc.ne.jp/wp-content/uploads/2013/09/research_NPOSupportCenter2012_3-results\(statistic\).pdf](http://www.jnpoc.ne.jp/wp-content/uploads/2013/09/research_NPOSupportCenter2012_3-results(statistic).pdf))

NPO 新聞ホームページ (<http://nponews.jp/>)

七生病院 院内研究資料 (<http://www.nanao-hospital.jp/research13/k1309.html>)

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語+」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。